



### プロジェクト名: CCUS研究開発・実証関連事業(うち、研究開発項目「③CO2分離回収技術の研究開発 2)先進的二酸化炭素固体吸収材の石炭燃焼排ガス適用性研究」)

#### 研究開発の目的

大規模CO2排出源からのCO2を低コストで分離・回収する技術開発を実施し、CO2大規模貯留実証試験を通じた、貯留を安全に実施するためのモニタリング技術の開発や、関連する技術の調査等を行う。CO2分離・回収、貯留及び有効利用(CCUS)技術に関する調査を一体的に進めることで、早期の技術確立及び実用化を狙う。

#### 研究開発の内容

CCUS実用化に向けた、大規模実証試験、安全なCCS実施のためのCO2貯留技術の研究開発、CO2分離回収技術の研究開発、CCUS技術に関連する調査を実施する。

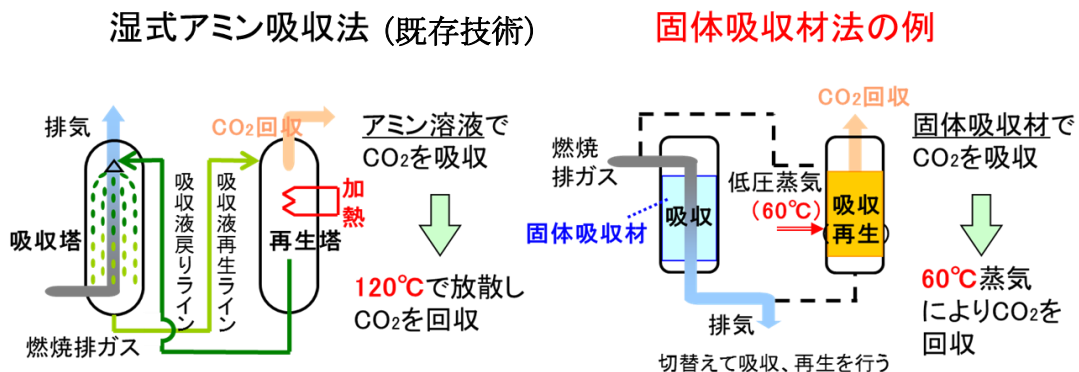
以下の研究開発項目について追加する。

#### ③CO2分離回収技術の研究開発

#### 2)先進的二酸化炭素固体吸収材の石炭燃焼排ガス適用性研究

固体吸収材によるCO2分離・回収技術について、石炭火力発電所などの実燃焼排ガスを対象としたスケールアップ試験を行い、石炭燃焼排ガスへの適用性を研究する。

#### 成果適用のイメージ



再生回収に必要な排熱温度が60°C以上と低い

→ **CO2分離エネルギー少**  
**未利用の低温排熱利用**

目標 CO2回収コスト: 2,000 円/t-CO2

#### プロジェクトの規模

- ・事業費総額 14億円(予定)(2020年度)
- ・NEDO予算総額 14億円(予定)(2020年度)
- ・実施期間 2018~2024年度(プロジェクト全体)(7年間)